



COLEGIO JAPONÉS DE BARCELONA

令和8(2026)年7月24日
バルセロナ日本人学校 学校だより
「バルセロナ」第426号
HP <https://www.colegiojaponesbcn.org/>

夏季体験入園・入学 ～素敵な出会いを通して～

校長 金子 智 彰

「楽しかった！また、来ていいですか？」

「また会いたいし、一緒に勉強したい。」

1学期を終えようとする校舎のあちこちで、子どもたちの弾むような声が響きわたる中、異なる環境で育ってきた子どもたちが、この「バル日」という一つの学び舎で出会い、心を寄せる。そんな奇跡のような3週間が、今年も無事に幕を閉じました。

今年度は、6名の夏季体験入園・入学生を本校に迎えました。最初は緊張や不安を抱えていたはずの子どもたちが、いつの間にか在校生と肩を並べ、心からの笑顔を見せてくれるようになるまでの日々。そこには、本校が大切に培ってきた「日々の教育」と、子どもたち自身の素晴らしい心の交流がありました。

授業中に自然と教え合う姿、休み時間にサッカー場を一緒に駆け回る姿、そして幼稚部で手を取り合って遊ぶ微笑ましい姿。そこには、過ごしてきた場所や習慣の違いを軽々と飛び越えてしまう、子どもたちならではの純粋な共感の力が溢れていました。

在園・在校生たちは、体験入学生をかけがえのない「仲間」として温かく迎え入れました。学校のルールを優しく教えたり、進んで手を引いたりする姿からは、日々の生活の中で培ってきた思いやりの心がしっかりと根づいていることが伝わってきました。体験入学生たちもまた、その温かい思いやりに応えるようにして、全力で園・学校生活を駆け抜けました。

机を並べて学び、同じ空気を吸って笑い、学び合った3週間。ここで過ごした時間は、双方の心に「世界を広げる」という素晴らしい種を蒔いてくれたと確信しています。

「別れが寂しい」と思えるのは、それだけ濃密で温かい時間を共に過ごせた証拠です。この出会いを通して、在園・在校生たちも「自分たちの日常」を新鮮な目で見つめ直し、バル日の一員であることの喜びと誇りを新たにすることができたはずです。

明日からはいよいよ、夏休みが始まります。それぞれの場所で過ごす時間が、子どもたち一人ひとりにとって安全で、新しい挑戦とたくさんの発見に満ちた素晴らしい休暇となりますよう、心より願っております。

また2学期、一回り大きくなった子どもたちの元気な笑顔に出会えることを、教職員一同、楽しみにしています。



Los profesores se presentan

二殿先生(社会科)

◆『No Study, No Life』

『学びのない人生など無い』人生において、学ぶことというのはとても大事なことです。私は、社会科を専門で教えますが、歴史や地理を学ぶことは、自分の人生をより豊かにしていくものであると考えています。授業では、ただ単に教科書に書いてあることを教えるだけでなく、自分の学びや自分の経験を見習生に伝えることで、勉強がもっと楽しくなったり、興味関心が高まったりすることができるような授業を目指しています。

◆ スペインと日本の共通点について

スペインに来てからスペインと日本の共通点について考えました。どちらの国も豊かな食文化があり、長寿国であること、家族や地域社会を大切にする国民性であることなどが挙げられます。さらに、どちらも長い歴史と近代的な都市景観が美しく共存している魅力的な国だと思います。スペインという歴史ある国で生活し、バルセロナ日本人学校で素敵な見習生とともに学べる環境に感謝し、一日一日を大事に過ごしていきたいです。

これからもよろしくお願いいたします。



▶バルサのサッカーに魅了されて、バルサファンになりました!!

行事予定表

8月25日(火) 2学期始業式
給食開始
身体計測
プールカード配付
26日(水) 水泳学習①
お弁当【給食なし】
27日(木) お弁当
28日(金) 水泳学習②
お弁当【給食なし】
31日(月) 水泳学習③
お弁当【給食なし】
9月 7日(月) 2学期始園日



百人一首大会

7月8日(水)の業間に図書委員主催の百人一首大会を行いました。学部や学年ごとにグループを組み、多く札を取ったチーム順に順位をつけます。

日本の伝統文化にも触れる良い機会となっており、毎年開催しています。

来年度に向けて、今から少しずつ覚えたり、お気に入りの句を見つけたりできるとさらに深く日本の文化に親しむことができるのではないのでしょうか。



スペインランチづくり

7月13日(月)の学校開放日に小学部3・4年生による「スペインランチづくり」を行いました。今回のメニューは、「ガスパチョ」「パン・コン・トマテ」「トルティージャ」の3品。児童にとってスペインの食文化を知る一つのきっかけになりました。

夏休み期間中にはご家庭でも機会があれば是非作ってみてください。



夏休み中のiPadの取り扱いについて

- ・タブレットの動作が重くなっているという報告を受けることがあります。写真データや Goodnotes の保存でデータが動作を圧迫していることが考えられます。夏休み中に各自必要なものと不要なものを整理し、必要なものは各ご家庭で管理される個人のクラウドにデータ移管するなどしてください。
- ・タブレットは学習用としてお渡ししております。年度の最初にも説明しましたが、「3つのやくそくと10のルール」を守って使いましょう。

令和5年
4月発行

バルセロナ日本人学校 学習用iPad

3つのやくそくと10のルール

- 1 iPadは自分を成長させたり、人を幸せにしたりするために使います。
- 2 iPadを使って人のいやがることや、かなしむことをしません。
- 3 iPadを使用する際は、健康に気をつけて、時間をまもって使います。

① iPadは学習ツールです。ほかの人に貸せたり、売却したりしないでください。また、学校のからし出しているもので大切に扱ってください。《てんしゅつするときは学校に引き返します。なくがきした時、シールをはがさないようにしましょう。》

② iPadは毎日充電してください。充電の残量が少なくなると使えなくなります。《充電機は学校に保管してください。充電機は学校に保管してください。》

③ iPadは毎日充電してください。充電の残量が少なくなると使えなくなります。《充電機は学校に保管してください。充電機は学校に保管してください。》

④ Googleアカウントのパスワードは必ず変更してください。また、ほかの人にパスワードを教えないようにしましょう。

⑤ おうちでもきめられたルールをしっかりと守りましょう。《おうちでもきめられたルールをしっかりと守りましょう。》

⑥ ネットやメールがなくても、自分のことやほかの人のことを大切にしたいと思えるようにしましょう。《ネットやメールがなくても、自分のことやほかの人のことを大切にしたいと思えるようにしましょう。》

⑦ iPadをこわしたり、なくしたりしたときは、すぐに保護者の先生に報告してください。

⑧ 夏休み中、iPadは必ず自分の机の上に置いてください。夏休み中（バスの乗降など）はiPadをとり出してつかないようにしましょう。

⑨ 上のルールが守られなかったり、ほかの人の健康になることがつづいた場合はiPadが壊えなくなる可能性があります。また、ここにはないルールやマナーが定められている場合は、クラスで話し合いをし、みんなが守るためのルールをみんなで決めましょう。

CEL ESIO JAPONÉS DE BARCELONA

